

高松市立川添小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

豊かな感性と知性をもち、心身ともにたくましい児童の育成
～よく考える子 やさしい子 たくましい子～

【本校の課題】

- 多くの学年で、男女とも、ほぼ全種目で、県・全国平均を下回っている。
- 外遊びや運動への意欲の高い児童が少ない。

【現状】

休み時間等には、主に低学年の子どもたちが外で遊ぶことが多く、高学年が外で遊ぶ姿は、あまり見られていない。鬼遊び、遊具遊びが多く、一部ではボール遊びをしている。

体育の授業においては、担任ごとに学習内容を設定して授業を行っているが、全校で中心となる運動課題を設定していないので、全校で一貫した取り組みができていない。

【取組み】

縦割り班「ふれあい活動」の活用

ペア学年で一緒に運動（ペア追いかっこ・ボール投げ・遊具遊び）を行い、上学年がお手本として意識したり、下学年がまねしたりすることをねらっている。そして、運動の意欲付けにつなげる。

クラスマッチを設定し意欲付け

これまでの運動会の走カクラスマッチに加えて、各学年で種目や内容を設定した水泳・なわとび・ボール運動のクラスマッチを行っている。

パワーアップカードによる自主的な運動の推進

5月に実施した新体力テストの結果や普段の運動経験から、児童一人ひとりが自分に合った運動を選択し、自主的に運動に取り組めるようにする。また、カードを7枚達成した児童にはスポーツ賞を渡し、意欲向上につなげる。



朝の活動に全校生で運動に取り組む

朝の活動で、各クラスで長縄跳びを実施する（計2回）。さぬきっ子チャレンジに種目の合わせることで、児童のやる気が出るようにする。また、1ヵ月後に記録をとることでよりよい記録へ向けて各クラスで練習を行う。

【目標】

- 自分の運動能力を知ることや運動への楽しさを知ること、自分から運動をしようとする態度を育てる。